



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2013年9月26日

ダイヤモンド・プリンセス、 洋上最大級の大浴場と寿司レストランを新たに設置

プリンセス・クルーズ、日本市場向けにさらに上質なクルーズ体験を提供



(2013年9月26日 - 東京)プリンセス・クルーズは本日、2014年のドライドック期間中にダイヤモンド・プリンセスに最新の改装を施すことを明らかにした。改装の目玉は、クルーズ客船では最大級となる大浴場、ならびに寿司レストランの設置である。これらの改装は、日本市場に特化したクルーズ体験を提供しようとする同社の取り組みをより鮮明に表すものである。

新たに設置する大浴場と庭園の大きさは 820 平方メートル(約 250 坪)で、屋外浴場スペースと屋内浴場スペースどちらも楽しめる。日本式のお風呂を設けることで、落ち着いてリラックスできる環境を提供する。岩やその他の自然素材を用い、日本人が慣れ親しんでいる大浴場を再現している。

大浴場の入口を抜けると、屋外の男女共用のスパプールへと続く。スパプールは豊かな緑に囲まれ、新鮮な海風を感じることができる。目の前に広がる広大な海を眺め、潮風を感じながら、日除け付きの高級感あるラウンジチェアでくつろいだり、足湯を楽しむことができる。また、屋外スペースではドリンクと軽食も楽しめる。

屋内には、壮大なオーシャンビューを満喫できるお風呂が 2 つ、男女別に作られる。木の素材を使ったお風呂はオープンエアで、陽の光を浴びて自然との一体感を味わえる。また床から天井までの窓を擁する眺めのよいドライサウナと、心地よくリフレッシュできるミストサウナを備える。岩風呂もオープンエアで、空から陽の光が注ぎ込む。加えて、打たせ湯もあり、上から滝のように落ちてくる温水が背中や肩の疲れをほぐしてくれる。また、オーシャンビューのドライサウナも備える。大浴場には、男女別の快適な脱衣場とリラックススペースも完備する。

大浴場の設計は、ダイヤモンド・プリンセスを建造した三菱重工業株式会社が請け負う。改装は 2014 年の日本発着クルーズ開始前の来年 3 月、21 日間のドライドック期間中に行われる。

「お風呂は日本文化を形作る大切な要素のひとつです。私たちはダイヤモンド・プリンセスの船内に、洋上で最大級となる日本式のお風呂という魅力的なスペースを作りたいと思っていました。」とプリンセス・クルーズの社長兼 CEO アラン・バクルーは語った。

大浴場は早朝から夜遅くまで利用可能。料金は一人当たり USD \$20(90 分)で、乗船時に予約を受け付ける予定。

総工費約 30 億円(3 千万米ドル)の改装では、さらにもうひとつの新施設である寿司レストラン「海(Kai)」も誕生する。今年、評判の高かったサン・プリンセスの寿司バー「海(Kai)」の人気を受け、ダイヤモンド・プリンセスではさらに大きな規模で登場し、寿司と刺身を提供する。座席数は 66 席で、握り寿司、



巻き寿司、刺身や味噌汁、デザートにはあんこを添えた抹茶アイスクリームも楽しめる。ダイヤモンド・プリンセスが寄港する各地の日本酒なども取り揃える予定。

「21 日間という期間にこれらの改装すべてを行うのは、かなりの挑戦です。ただ完了した暁には、2014 年の日本でのクルーズシーズンの開始にあわせて、乗船客の皆様に最高の船上体験をご提供できるようになると確信しています。」とバクルーは述べた。

ダイヤモンド・プリンセスとサン・プリンセスは、2014年4月から日本発着クルーズを開始する。2隻で合計42航海、5日間から11日間の日程の10コースで、日本20港と海外（韓国、台湾、ロシア）6港を訪れる。横浜、神戸、そして外国客船初となる小樽の3港を母港として展開する。

ダイヤモンド・プリンセスは乗客定員 2,670 人、サン・プリンセスは乗客定員 2,022 人。両客船とも、屋外の巨大スクリーンで映画などが楽しめる「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」、大人のためのリラクゼーション・スペース「サンクチュアリ」を含む、豊富な施設を備える。多彩なレストランとエンターテイメント施設をはじめ、多くの客室がプライベート・バルコニー付きで、「ロータス・スパ」、プティック、インターネット・カフェなど、その他施設も充実している。また、日本人乗船客のための特別サービスとしては、充実したフードメニューやお茶、鏡割りのセレモニー、専門家による各種講座のほか、船内新聞や放送も日本語で用意される。

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>

※画像は全てデザイン案で、変更される場合があります。